



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊東 龍也
 (氏名) 大井 康生

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,109	△6.0	△2	—	△2	—	△5	—
26年3月期第1四半期	1,180	△2.0	21	△50.6	21	△50.3	15	△52.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △6百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 27百万円 (△0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△4.44	—
26年3月期第1四半期	12.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	2,452	453	18.1	365.68
26年3月期	2,398	430	17.9	346.98

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 444百万円 26年3月期 430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	4.3	65	—	31	—	24.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	1,311,300 株	26年3月期	131,130 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	70,900 株	26年3月期	70,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	1,240,400 株	26年3月期1Q	1,240,400 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等を背景に緩やかな回復傾向が続きましたが、物価上昇や消費税増税による消費減退が懸念され、個人消費を取り巻く環境及び消費全般の基調は引き続き楽観視できず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループが所属するゴルフ業界におきましても、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい経営環境が続いております。要因は言うまでもなく消費税増税による売上の反動減であり、影響が最も大きかった4月から5月、6月へと尾を引く市況が続きました。しかしながら、ゴルフ場／練習場の利用者数は、前年同月比4月103.6%/100.8%、5月103.6%/97.8%（経済産業省「特定サービス産業動態調査」）とプレー人口は、堅調に推移しており、ゴルファーにおける「消費の優先順位」としてゴルフ用品よりプレー優先志向であったということが推定されます。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましても消費税増税に対するさまざまな施策や販促活動を計画／実行に努めてまいりましたが、購入客数の減少、購入単価の下落などに歯止めをかけるまでには至りませんでした。営業販売事業におきましても、直輸入特価商材はもとより国内特価商材の確保に注力しながら、小型専門店からネット専業事業者、大型量販店まで各業態において受注獲得に努めてまいりました。

また、フランチャイズ事業においては平成26年4月に「倉敷笹沖店」を出店、5月末に「広島八木店」が閉店いたしました。よって、平成26年6月末日現在の営業店舗数は全国で合計75店舗となっております。

なお、平成26年6月17日に内容確定いたしました取締役に対する株式報酬型ストックオプションの費用を計上しております。また、繰延税金資産を3百万円取崩しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高が11億9百万円（前第1四半期連結累計期間11億80百万円）、営業損失が2百万円（同営業利益21百万円）、四半期純損失は5百万円（同四半期純利益15百万円）となりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

ゴルフ・ドゥ！店舗	H26年4月	H26年5月	H26年6月	第1四半期 合計
チェーン 全店	101.8%	101.1%	97.4%	100.1%
チェーン 既存店	93.9%	94.6%	91.0%	93.1%
直営店 全店	102.2%	99.5%	95.4%	99.0%
直営店 既存店	95.2%	93.0%	89.0%	92.3%
F C店 全店	101.7%	101.9%	98.5%	100.7%
F C店 既存店	93.2%	95.5%	92.0%	93.6%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(直営事業)

当第1四半期連結累計期間における直営事業の売上高は7億47百万円（前第1四半期連結累計期間7億56百万円）となりました。また、セグメント利益は36百万円（同51百万円）となりました。

(フランチャイズ事業)

当第1四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は96百万円（前第1四半期連結累計期間98百万円）となりました。また、セグメント利益は36百万円（同37百万円）となりました。

(営業販売事業)

当第1四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は2億66百万円（前第1四半期連結累計期間3億25百万円）となりました。また、セグメント損失は3百万円（同1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は24億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。

流動資産は、17億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円の減少となりました。これは主に現預金が1億円増加、商品及び製品が1億7百万円減少したことによるものです。

固定資産は、6億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円の増加となりました。これは主に長期貸付金91百万円計上によるものです。

(負債)

流動負債は、10億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加しました。これは主に短期借入金が61百万円増加したことと、買掛金が37百万円減少したことによるものです。

固定負債は、9億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。これは主に長期借入金が10百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が14百万円ほど改善したことと、新株予約権9百万円計上によるものです。この結果、自己資本比率は18.1%（前連結会計年度末は17.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	416,617	517,296
受取手形及び売掛金	224,924	222,931
商品	1,046,707	939,418
繰延税金資産	28,301	24,755
その他	57,863	54,555
貸倒引当金	△1,179	△1,175
流動資産合計	1,773,236	1,757,781
固定資産		
有形固定資産	224,663	215,660
無形固定資産	47,173	41,487
投資その他の資産		
敷金及び保証金	159,692	155,737
建設協力金	130,718	128,119
投資有価証券	19,611	20,478
繰延税金資産	3,286	3,236
その他	42,205	132,210
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	353,346	437,614
固定資産合計	625,182	694,762
資産合計	2,398,419	2,452,543
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,273	186,696
短期借入金	378,477	439,530
1年内返済予定の長期借入金	276,276	296,280
未払法人税等	7,052	2,167
賞与引当金	21,001	11,313
ポイント引当金	24,385	25,956
その他	144,768	135,016
流動負債合計	1,076,235	1,096,960
固定負債		
長期借入金	679,806	690,733
繰延税金負債	7,619	7,619
退職給付に係る負債	123,623	123,727
資産除去債務	34,942	35,108
その他	45,800	44,800
固定負債合計	891,791	901,988
負債合計	1,968,026	1,998,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,320	501,320
資本剰余金	178,372	178,372
利益剰余金	△256,107	△241,400
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	399,960	414,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,606	3,473
為替換算調整勘定	27,826	25,884
その他の包括利益累計額合計	30,432	29,357
新株予約権	—	9,570
純資産合計	430,392	453,595
負債純資産合計	2,398,419	2,452,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,180,897	1,109,620
売上原価	787,679	716,881
売上総利益	393,217	392,739
販売費及び一般管理費	371,502	394,825
営業利益又は営業損失(△)	21,715	△2,086
営業外収益		
受取利息	905	1,441
受取手数料	618	791
為替差益	1,345	547
その他	147	315
営業外収益合計	3,017	3,096
営業外費用		
支払利息	2,909	3,474
その他	111	231
営業外費用合計	3,021	3,706
経常利益又は経常損失(△)	21,711	△2,696
特別利益		
子会社株式売却益	—	3,600
特別利益合計	—	3,600
税金等調整前四半期純利益	21,711	903
法人税、住民税及び事業税	4,585	2,862
法人税等調整額	1,612	3,546
法人税等	6,198	6,409
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	15,512	△5,505
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,512	△5,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	15,512	△5,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,875	866
為替換算調整勘定	8,281	△1,941
その他の包括利益合計	12,157	△1,074
四半期包括利益	27,669	△6,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,669	△6,580

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	756,580	98,354	325,962	1,180,897	—	1,180,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	756,580	98,354	325,962	1,180,897	—	1,180,897
セグメント利益又は損失(△)	51,068	37,737	△1,435	87,370	△65,654	21,715

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却費 4,369千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	747,581	96,037	266,000	1,109,620	—	—	1,109,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	129	△129	—
計	747,581	96,037	266,000	1,109,620	129	△129	1,109,620
セグメント利益又は損失(△)	36,196	36,728	△3,988	68,936	△3,626	△67,396	△2,086

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。